

目立たないけど、存在感を増す SVC①

災害に強い地域づくりを目指して 永田町区で防災訓練を実施

9月29日、永田町区内全域で防災訓練が行われました。訓練には、同区内の地域住民や消防団など約150人が参加。震度6強の地震が発生したことを想定し、各地区に設定された3カ所の一時避難所から訓練本部まで歩いて避難する防災ウォーキングや大雨災害時などに危険となる箇所の確認作業、消火器体験などが行われました。



永田町区のこみねゆうじ小峰雄二区長は「これまで行ってきた図上訓練に加え、実際の避難行動を行う訓練を行うことで災害に強い地域づくりが進む」と話しました

(市広報 11月号掲載)

学校・地域が連携し体験型の防災フェスタを開催

細野まちづくり
協議会×地域



10月12日、細野小・中学校、細野区会、消防署、警察署、自衛隊、消防団などに協力をいただき、体験型の防災イベント「ほそのつこ防災フェスタ」を開催しました。

9つの体験ブースのほか、緊急車両も展示。屋外では、ブースで体験した内容の応用編として、小学生には土のうを作ってもらい、中学生には自分達で考えながら即席でテントを作ってもらいました。

実際に手元にあるモノや道具で「工夫」するだけでテントやスリッパなどを創ることができ、参加者からも「実際の災害時に慌てずに、今日の内容を思い出したい」と前向きな意見が出ていました。

目立たないけど、存在感を増す SVC②

地域防災の要となる人材を育成 33 人を市民防災リーダーに認定

11 月 30 日、市民防災リーダー養成講習会が中央公民館で開かれました。講習会は、地域の防災対策のリーダーとなる人材を育成するもので、地域住民など 33 人が参加。参加者は、防災の基礎知識や昨年 1 月に発生した能登半島地震での事例などについて学んだほか、心肺蘇生法や AED の使用方法、ロープワークなどの実技も学びました。



災害ボランティアコーディネートセンターの講師からロープワークを学ぶ様子。参加者は防災に関する幅広い知識や実技を学びました

◆防災講話 SVC 川野

◆ロープワーク SVC 渡邊

(市広報 R7, 1 月号掲載)

円滑なボランティア受け入れ目指す 社協が災害 V C 運営訓練を実施

11 月 22 日、市社会福祉協議会主催の災害ボランティアセンター運営訓練が行われました。訓練には同協議会と市 SVC センター、小林青年会議所、トヨタレンタリース宮崎などから約 20 人が参加。災害ボランティアセンターの仕組みを学ぶ講義のほか、実際のセンター運営の流れを学ぶ演習などを行い、災害発生時の動きを確認しました。



社会福祉協議会は、災害発生時、被災状況に応じ市が設置した災害ボランティアセンターを運営。ボランティア受け入れや支援活動の調整などの役割を担います

地域と交流深めるシン・小林小まつり

12 月 7 日、シン・小林小まつりが開催されました。午前中は小林小まちづくり協議会と連携し、地域の名人たちを講師に迎えてグラウンドゴルフやごみ拾いなどを実施。



午後は PTA 主催の飲食の販売やスポーツ少年団の紹介などが行われ、会場は盛り上がりました。

6 年生を対象に防災授業を体育館で実施

目立たないけど、存在感を増す SVC③

防災教育を行いました

12月8日(日)に防災教育を行いました。2年生は修学旅行中のため、1・3年生を対象に行いました。講師として防災士の資格を持たれている方を含め5名にお越しいただきました。災害が起きた時の行動や考え方(防災って何?、防災サバイバル、3・3・3の法則)やロープワークについて学ぶことができました。今回の防災教育で、災害対策の基本は、一人ひとりが防災意識を高め、「自助」の力を高めることが大切であることを改めて考えさせられました。その先に、「共助」「公助」があることを忘れずに防災を意識した生活を送りたいものです。



(細野中学校だより 転写)



第2回 令和6年7月24日(水)
に新防災訓練の見学・SVCに
よる防災用品の説明と実演を
実施しました。参加者 10名

・文化部会
・地域防災センターの見学

友愛クラブだより

2024 1号 令和7年3月発行

目立たないけど、存在感を増す SVC④

今年は梅雨入りも早く、猛暑が予想されますので、熱中症には十分に気をつけてください。また、毎日を元気に過ごすために、十分な休養とちょっとした運動を取り入れ、日頃から、体調管理には心がけていただくようお願いいたします。

4月の永田町区の総会を終えて、第一回目の組長会で「防災研修会」をおこないました。



今回の「防災研修会」には、組長さんのほか、役員、民生委員児童委員、福祉協力員の皆さんに参加していただき、防災講話「災害への備え」（SVC/災害ボランティアコーディネーター）と令和7年3月に作成した「永田町区防災計画」の説明及び意見交換をおこないました。

「永田町区防災計画」につきましては、近々、回覧で回ってくるかと思っておりますので、回覧の折は、しっかり読んでいただき、災害時にどのような行動をとったらいいか、家族や隣近所で話し合ってくださいと思います。

2025年5月26日 永田町区民だより 第12号より転写

「にしもろ防災フェスタ」で学ぶ 災害発生時に私たちができること

5月17日、市地域防災センターで小林青年会議所（小野 将^{おの たすく} 理事長）主催の「にしもろ防災フェスタ」が開催されました。小林西高校吹奏楽部の演奏をはじめ、自衛隊による炊き出しのふるまいやAED講習などが催されたほか、会場内では普段見ることが少ない災害対応車の展示なども行われ、多くの家族連れでにぎわいました。



来場者は災害時などに役立つロープワーク体験や水消火器を使った消火体験などを通して、自分でできる防災への取り組みについて学びました

市広報 2025、6 No231号より